2010年3月期 第2四半期
決　算　説　明　会

2009年11月18日（水）

いちよし証券株式会社

目次

いちよし証券

Ⅰ. 決算報告 2010年3月期第2四半期決算報告（連結）

1. 収支の状況 …… 4
2. 貸借対照表 …… 5
3. 財務の状況 …… 6
4. 純営業収益の内訳 …… 7
5. 受入手数料の内訳 …… 8
6. トレーディング損益 …… 9
7. 販売費・一般管理費の内訳 …… 10
8. コスト削減と小さな本社（単体） …… 11
9. 2009年４月～９月の実施事項 …… 12

Ⅱ. 業績の推移

1. 基盤の拡大－預り資産の増加 …… 14
2. 営業基盤の拡大－預り資産の増加（投信） …… 15
3. 預り資産の増加戦略 …… 16
4. 投信預り資産の増加戦略 …… 17
5. 顧客管理－預り口座数の推移（リテール） …… 18
6. 商品戦略－投信・外債販売額推移表（月間） …… 19
7. 商品戦略－投資信託の募集解約・純増額（月間） …… 20
8. 収支構造の改善－コストカバー率の推移（単体、月間平均） …… 21

目次

9. 収支構造の改善－株式市場の変動に影響されない収支構造（単体、月間） ・・・・・・・・・・・・・ 22
10. 既存ビジネスの収益力の厚み増加－主幹事会社目標 ・・・・・・・・・・・・・ 23

Ⅲ. 新中期経営計画と成長戦略

1. 新中期経営計画の数値目標 ・・・・・・・・・・・・・ 25
2. 8つの基本戦略 ・・・・・・・・・・・・・ 26
3. 今期の経営方針－ブランド・ブティックハウスの土台の再構築 ・・・・・・・・・・・・・ 27
4. 成長戦略－いちよし証券の戦略 ・・・・・・・・・・・・・ 28
5. 成長戦略－ブランド・ブティックハウスの構築に向けて ・・・・・・・・・・・・・ 29
6. 成長戦略－「ブランド・ブティックハウス」構築 ・・・・・・・・・・・・・ 30
7. 商品戦略1－主要投資信託 ・・・・・・・・・・・・・ 31
8. 商品戦略2－個人のお客様向け商品についての原理原則 ・・・・・・・・・・・・・ 32
9. いちよしの総合力＝「トライアングル・ピラミッド経営」の強化 ・・・・・・・・・・・・・ 33
10. いちよしの総合力＝競争力強化 ・・・・・・・・・・・・・ 34
11. 成長戦略－チャネルの多様化 ・・・・・・・・・・・・・ 35

Ⅳ. コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

1. 株主構成の推移 ・・・・・・・・・・・・・ 37
2. ガバナンス体制 ・・・・・・・・・・・・・ 38
3. 利益還元 ・・・・・・・・・・・・・ 39

Ⅰ．決算報告
2010年3月期第2四半期決算報告（連結）

1. 収支の状況

いちよし証券

（単位：百万円）

	2009年3月期 2Q累計	2010年3月期 2Q累計	増減率
営業収益	8,640	8,156	△5.6%
販管費	9,083	7,938	△12.6%
経常利益	△480	139	―
特別利益	335	83	△75.2%
特別損失	662	78	△88.1%
法人税、住民税及び事業税	26	27	4.0%
法人税等調整額	30	△3	―
四半期純利益	△865	121	―

（単位：百万円）

2009年3月期				2010年3月期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
5,042	3,598	2,849	2,766	4,150	4,005
4,676	4,407	4,217	4,045	4,036	3,902
405	△886	△1,363	△1,418	127	11
145	189	―	△2	31	51
4	657	421	128	50	27
18	8	11	20	10	16
177	△147	575	△3	0	△3
351	△1,217	△2,372	△1,566	98	23

①新株予約権戻入益　34百万円
②金融商品取引責任準備金戻入 29百万円
③投資有価証券売却益　15百万円

①その他（一吉香港清算費用）34百万円
②固定資産除却損　17百万円
③固定資産棄損　10百万円

***連結比率＝90.4：9.6**
（営業収益ベース）

2. 貸借対照表

いちよし証券

（単位：百万円）

	2009年3月期		2010年3月期	2009年3月末比増減額
	2Q	4Q	2Q	
資産の部				
流動資産	37,891	27,448	38,281	10,833
固定資産	9,976	9,147	8,802	△345
資産合計	47,868	36,596	47,083	10,487
負債の部				
流動負債	13,347	7,924	18,327	10,403
固定負債	345	346	798	451
負債合計	13,861	8,439	19,264	10,824
純資産の部				
純資産合計	34,006	28,156	27,819	△336
負債・純資産合計	47,868	36,596	47,083	10,487

信用取引貸付金　+5,638百万円
顧客分別金信託　+4,190百万円
募集等払込金　+2,849百万円
現金・預金　△1,381百万円

募集等受入金　+8,112百万円
信用取引借入金　+2,002百万円

長期借入金　+454百万円

3. 財務の状況

	2009年3月期				2010年3月期		2009年3月末比増減(%、円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
自己資本比率(%)	72.4	70.9	75.2	76.7	70.8	59.0	△17.7%
1株当たり純資産(円)	768.61	740.99	676.10	640.42	634.73	633.42	△7.0円
自己資本規制比率(%)	434.3	450.4	368.6	383.8	404.6	429.3	45.5%
1株当たり四半期(当期)純利益(円)(累計期間)	7.67	△18.90	△70.72	△106.03	2.24	2.78	―
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)(%)(累計期間)	1.0	△2.5	△9.9	△15.1	0.4	0.4	―

4. 純営業収益の内訳

いちよし証券

（単位：百万円）

	2009年3月期	2010年3月期	増減率
	2Q累計	2Q累計	
受入手数料	7,550	7,244	△4.0%
トレーディング損益	559	473	△15.4%
その他の営業収益	320	308	△3.8%
金融収支	151	84	△44.3%
合計	8,581	8,110	△5.5%

（単位：百万円）

2009年3月期				2010年3月期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
4,446	3,103	2,556	2,451	3,671	3,572
292	267	97	101	258	214
195	124	129	156	158	149
78	72	47	38	37	46
5,013	3,568	2,831	2,748	4,126	3,984

5. 受入手数料の内訳

いちよし証券

（単位：百万円）

	2009年3月期 2Q累計	2010年3月期 2Q累計	増減率
委託手数料の主な内訳			
株券	2,652	2,961	11.7%
募集売出しの主な内訳			
投信	1,350	1,733	28.3%
引受売出しの主な内訳			
新規公開	2	7	173.5%
既公開	0	14	—
計	3	22	588.0%
その他の主な内訳			
受益証券	2,827	2,086	△26.2%
その他	688	414	△39.7%
計	3,516	2,501	△28.9%

（単位：百万円）

2009年3月期				2010年3月期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
1,776	875	1,033	858	1,623	1,337
853	497	279	434	754	978
1	1	3	1	0	7
—	0	—	30	—	14
1	1	3	31	0	22
1,433	1,394	1,012	920	1,015	1,070
364	323	204	187	261	153
1,798	1,718	1,216	1,108	1,277	1,223

（単位：億円）

	2008/2Q	2009/2Q	増減率
投信募集額	761	955	25.5%
投信残高	7,475	6,606	△11.6%

投信募集額上位3銘柄　（単位：億円）

2009/4～9月	
①グローバルソブリン	322
②世界の大家さん	164
③HSBCインド・インフラ	81

6. トレーディング損益

いちよし証券

（単位：百万円）

	2009年3月期	2010年3月期	増減率
	2Q累計	2Q累計	
株　券　等	260	233	△10.3%
債券・為替等	299	239	△19.9%
合　計	559	473	△15.4%

（単位：百万円）

2009年3月期				2010年3月期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
145	115	77	86	171	61
147	152	19	15	86	152
292	267	97	101	258	214

（単位：億円）

	2008/2Q	2009/2Q
外債の販売額	162	119

7. 販売費・一般管理費の内訳

いちよし証券

（単位：百万円）

	2009年3月期 2Q累計	2010年3月期 2Q累計	増減率
取引関係費	1,151	809	△29.7%
人件費	4,687	4,422	△5.7%
不動産関係費	971	890	△8.3%
事務費	1,352	1,067	△21.1%
減価償却費	413	353	△14.4%
租税公課	88	86	△3.1%
その他	416	306	△26.5%
合計	9,083	7,938	△12.6%

＜主な減額要因＞

（単位：百万円）

取引関係費
- ①広告宣伝費 △192
- ②電話・郵送代 △49
- ③旅費交通費 △42
- ④交際費 △35

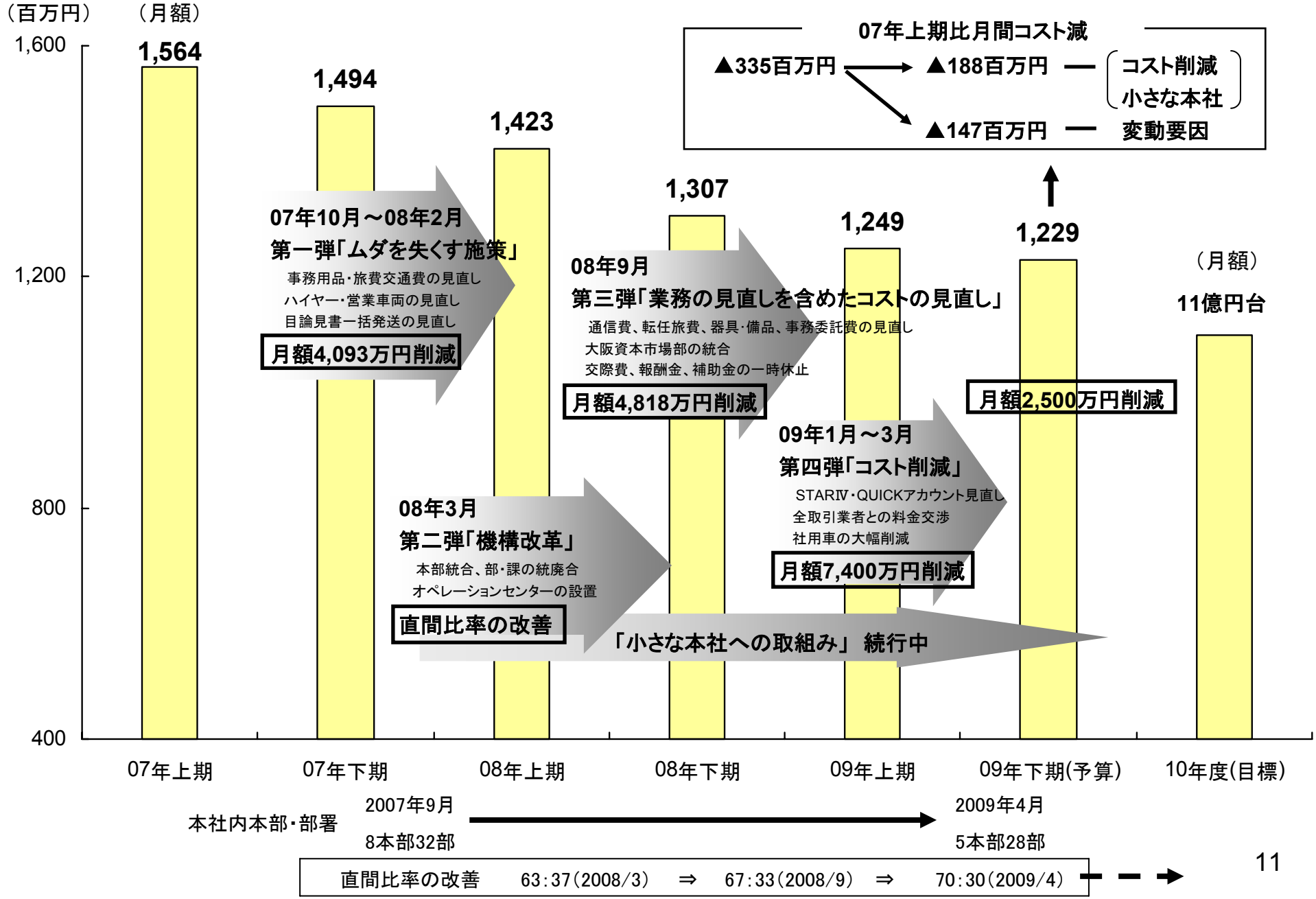
人件費
- ①給料 △135
- ②役員報酬 △50
- ③福利厚生費 △58

事務費
- ①NRI △73
- ②人材派遣 △60
- ③NCS等 △56
- ④事務用品等 △21

その他
- ①教育研修費 △35
- ②クイック等 △35
- ③従業員採用費等 △14
- ④図書費等 △8

8. コスト削減と小さな本社（単体）

いちよし証券



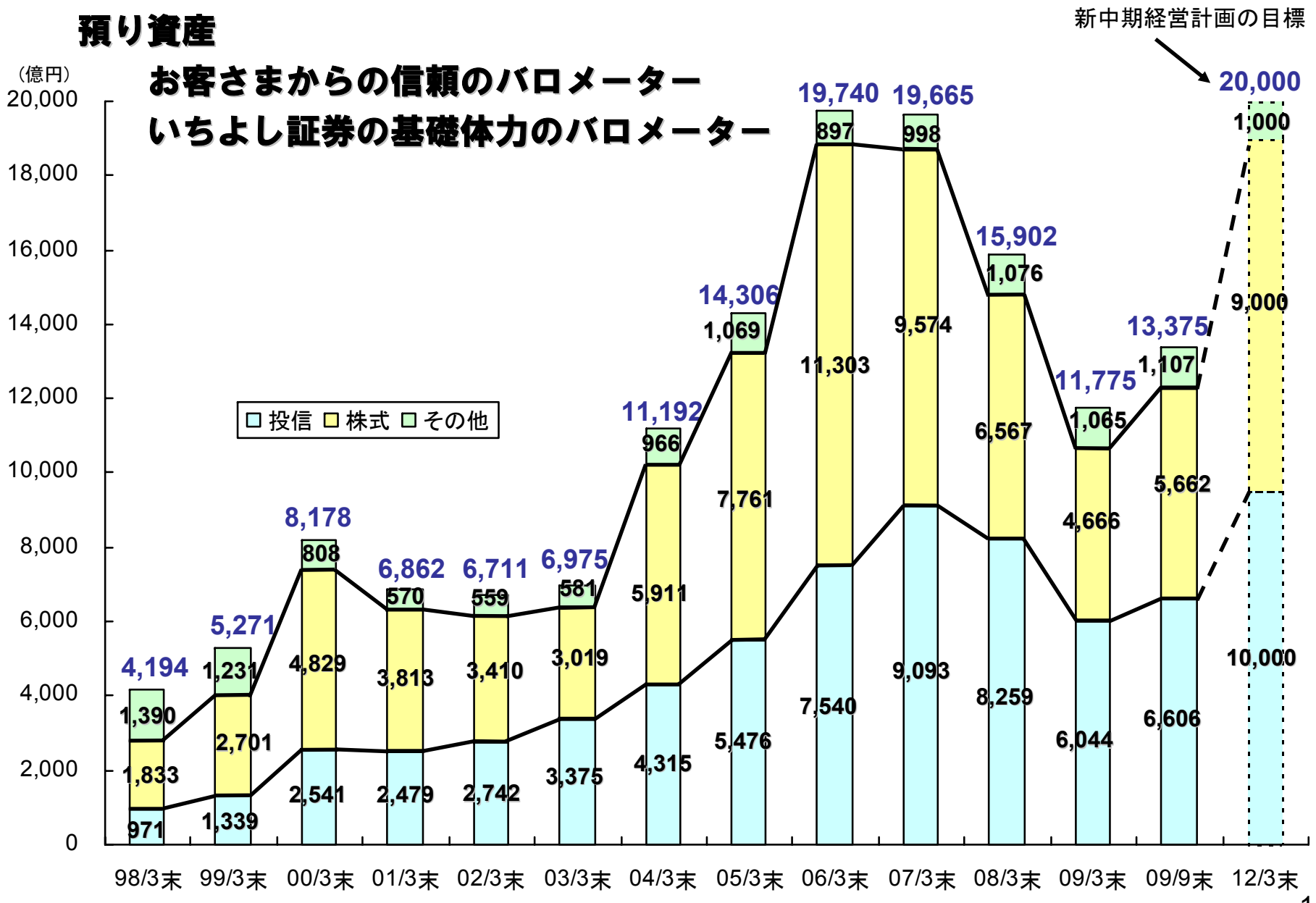
9. 2009年4月～9月の実施事項

項　目	内　容
1. 新中期経営計画の数値目標改訂	・預り資産2兆円　←（2兆5，000億円） ・主幹事35社　←（30社） ・ROE10～15%程度　←（20%程度）
2. いちよしグループの機能の見直し	いちよしIR研究所、一吉香港の閉鎖
3. 筋肉質な体質作り	「小さな本社」と「業務の効率化」
4. 役員報酬15%、上級職給与5%カット	（2009年4月～ ）
5. ストックオプションの実施	上級職へ付与（288,200株）
6. 中間配当12円	DOE4%程度
7.「いちよし開発」新規募集投信	（9月末残高） ・「HSBC　中国クオリティ株式オープン」（4月）・・・69億円 ・「いちよし中小型株リカバリー・ファンド（リトルヒーローズ）」（6月）・・・・・62億円 いちよし投資顧問一任運用の中小型日本株投信 証券界では2007年11月以来となる中小型株投信 ・「HSBC インド・インフラ株式オープン」（9月）・・・ 81億円

Ⅱ．業績の推移

1. 基盤の拡大ー預り資産の増加

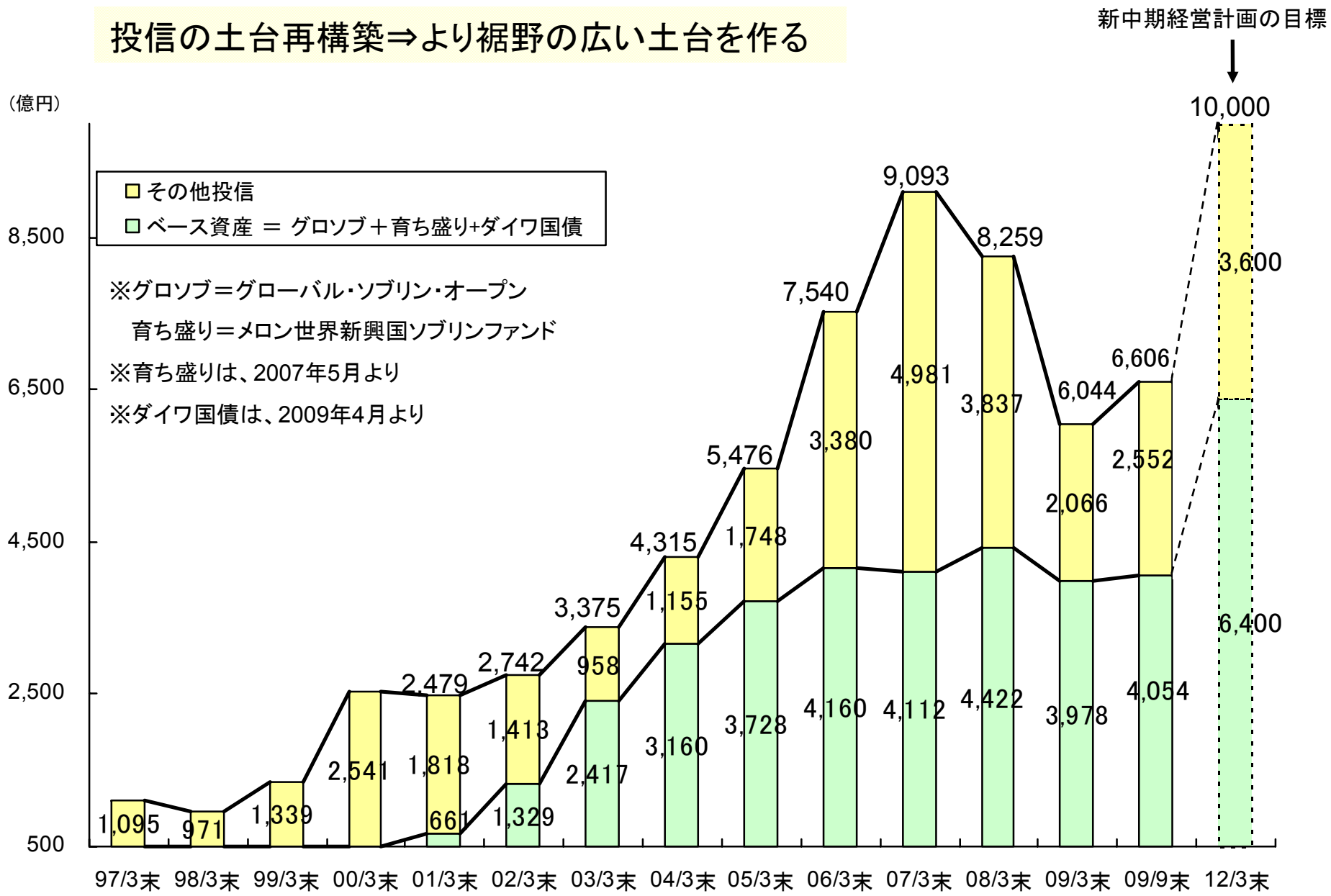
いちよし証券



2. 営業基盤の拡大ー預り資産の増加（投信）

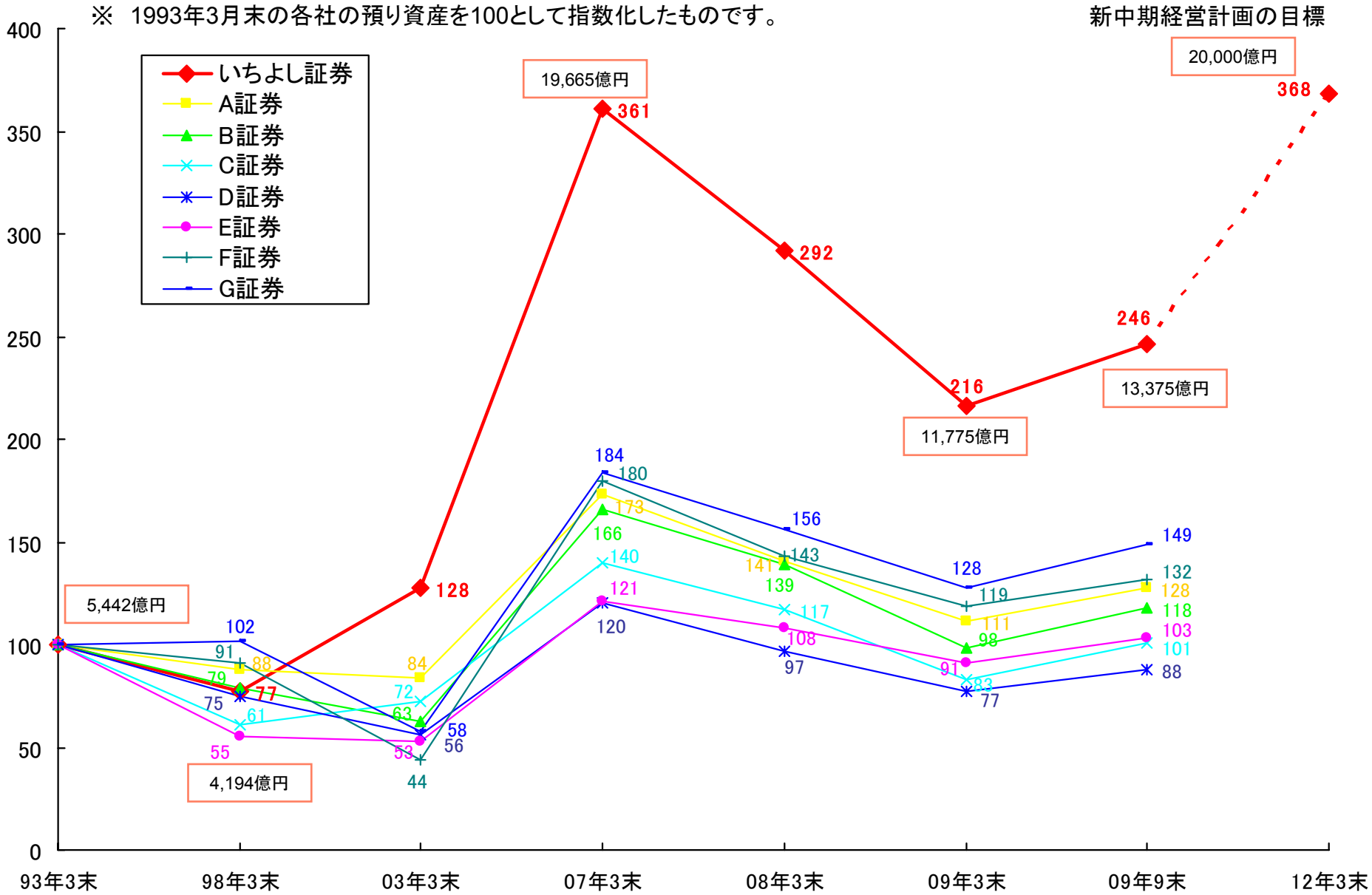
いちよし証券

投信の土台再構築⇒より裾野の広い土台を作る



3. 預り資産の増加戦略

※ 1993年3月末の各社の預り資産を100として指数化したものです。



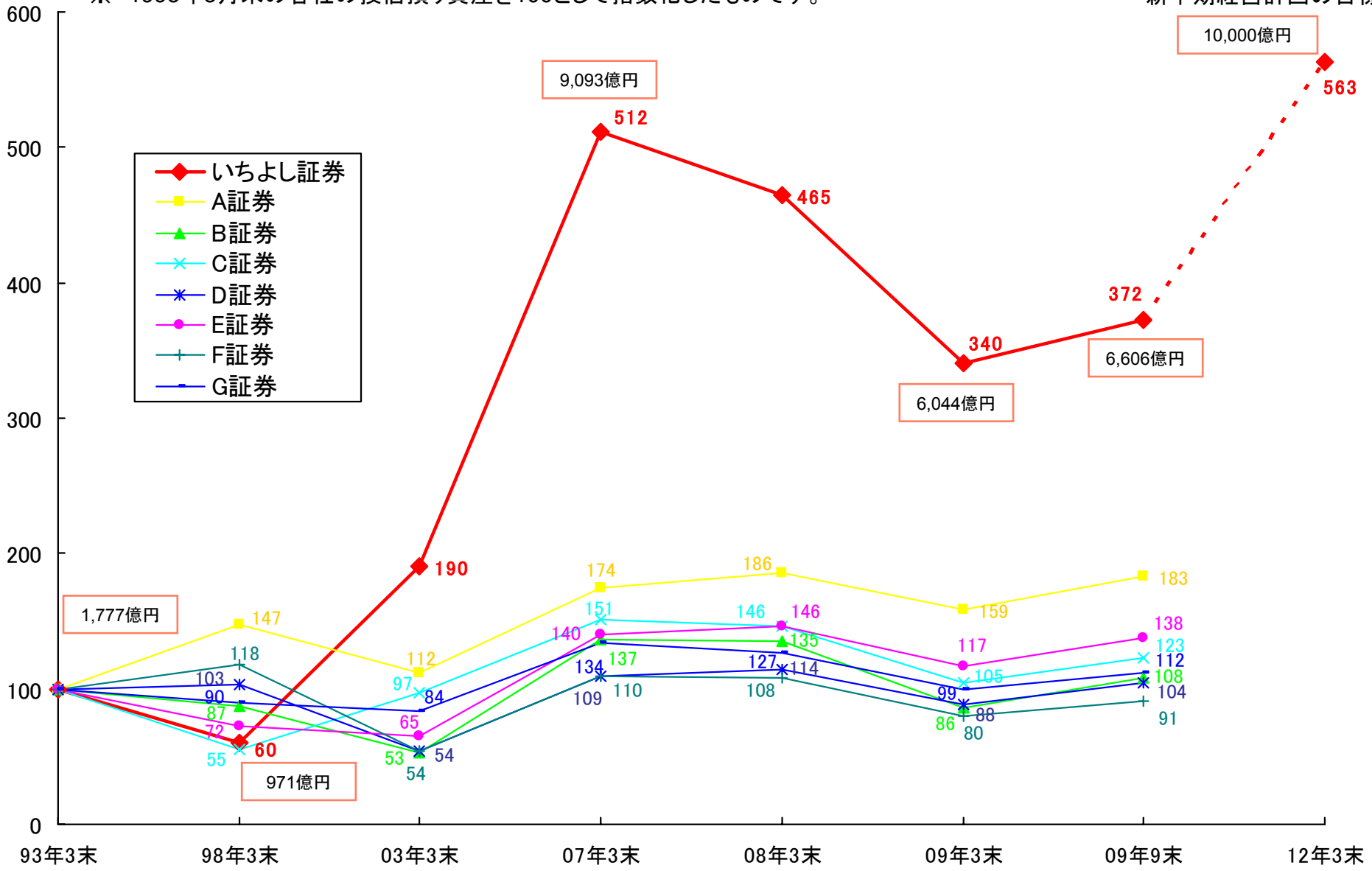
・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ合併していない証券会社。（専業ネット証券会社を除く。）

・出所：情報誌に掲載された各社の預り資産額を抽出し、いちよし証券が算定。

4. 投信預り資産の増加戦略

いちよし証券

※ 1993年3月末の各社の投信預り資産を100として指数化したものです。

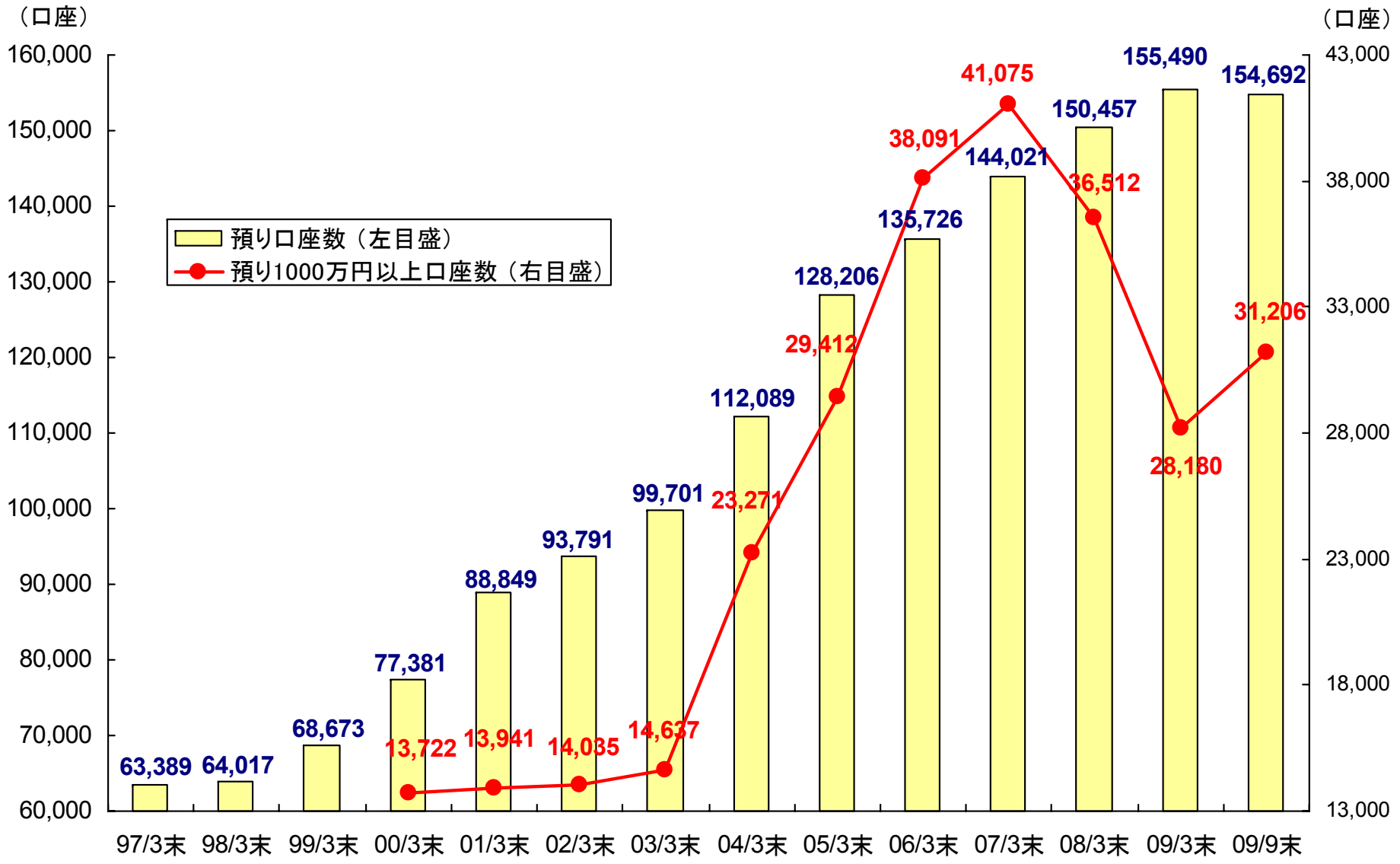


・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ合併していない証券会社。（専業ネット証券会社を除く。）

・出所：情報誌に掲載された各社の預り資産額を抽出し、いちよし証券が算定。

5. 顧客管理－預り口座数の推移（リテール）

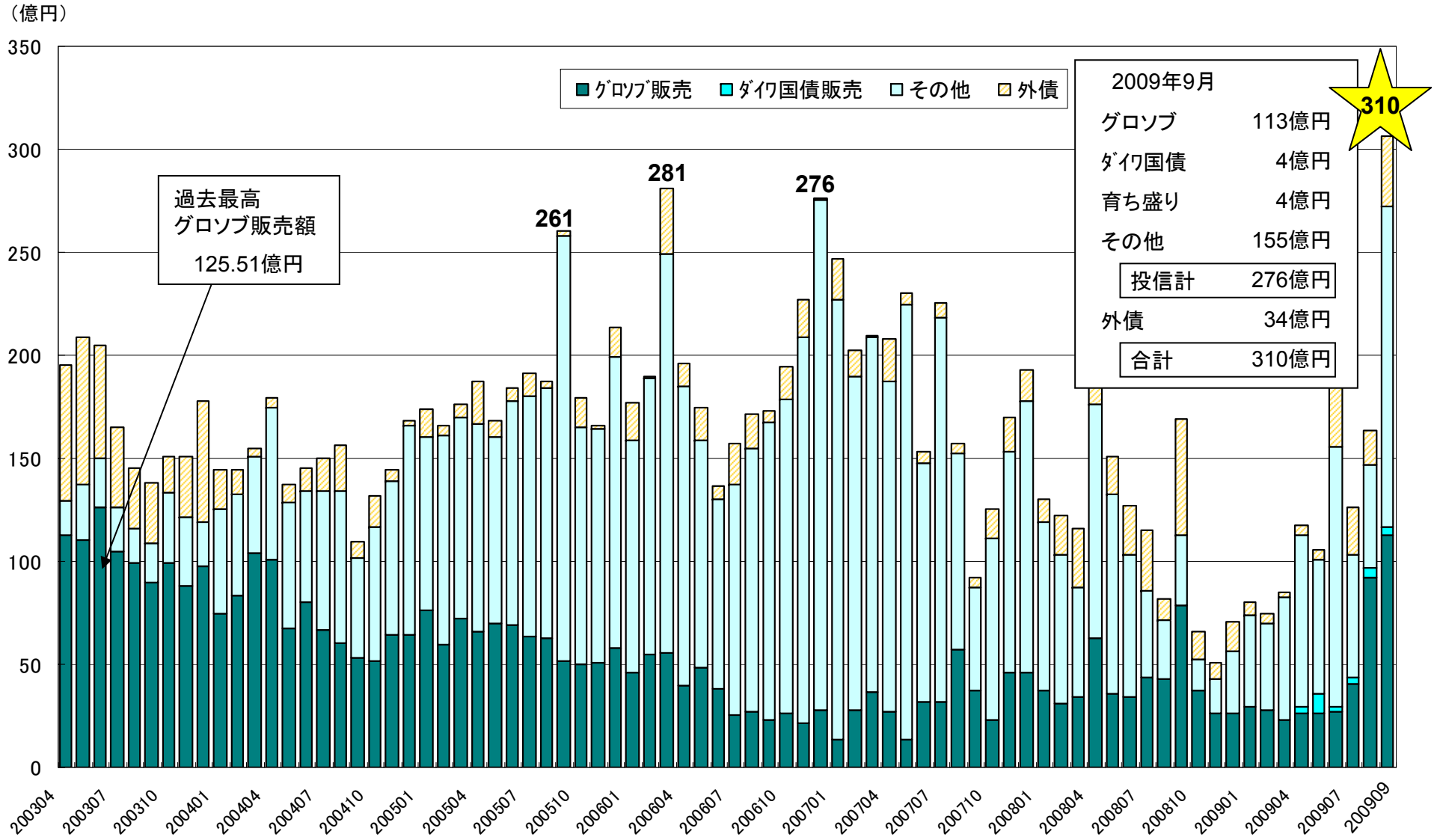
いちよし証券



1,000万円以上口座の割合	18%	16%	15%	15%	21%	23%	28%	29%	24%	18%	20%

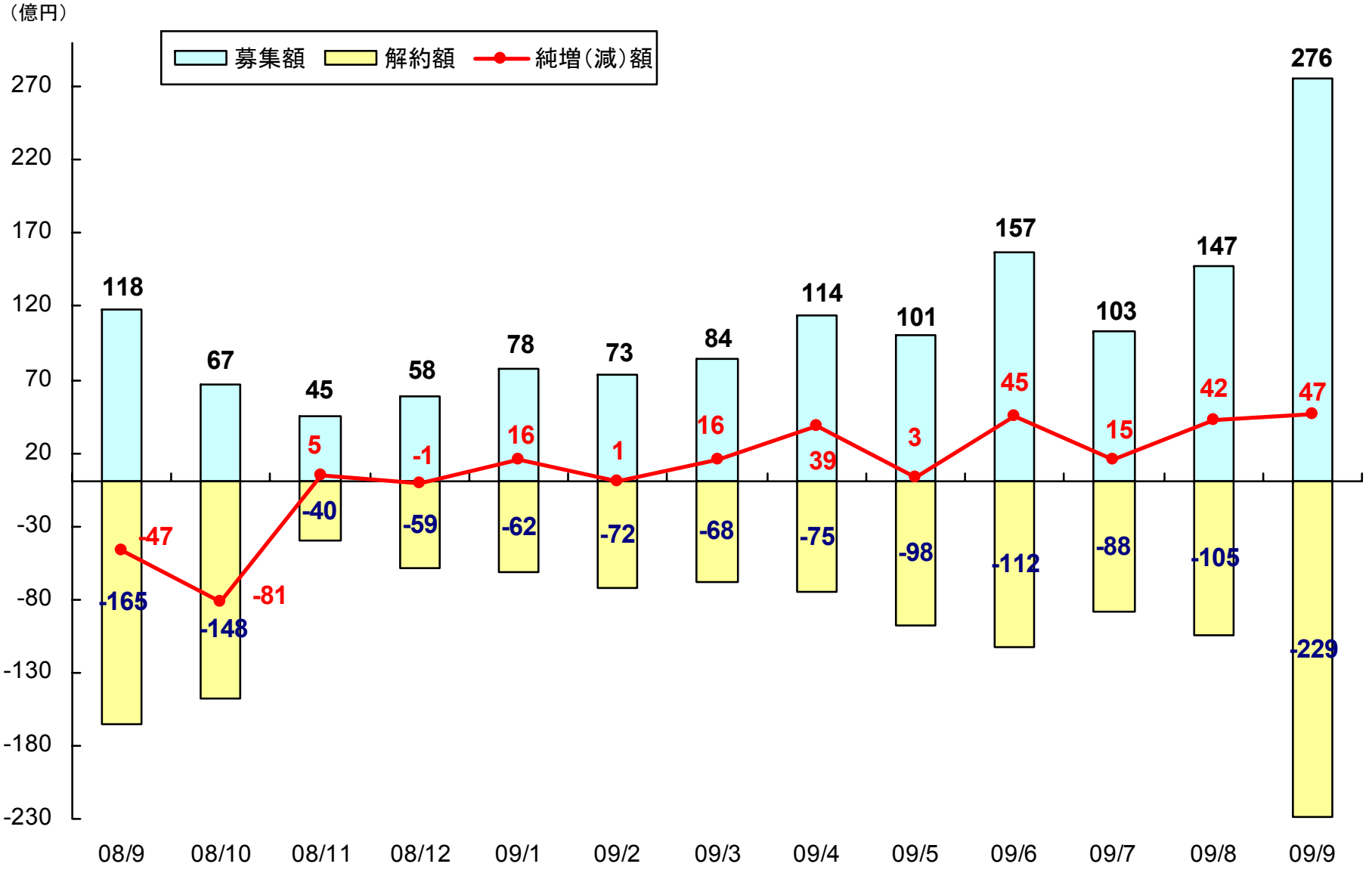
6. 商品戦略－投信・外債販売額推移表（月間）

いちよし証券



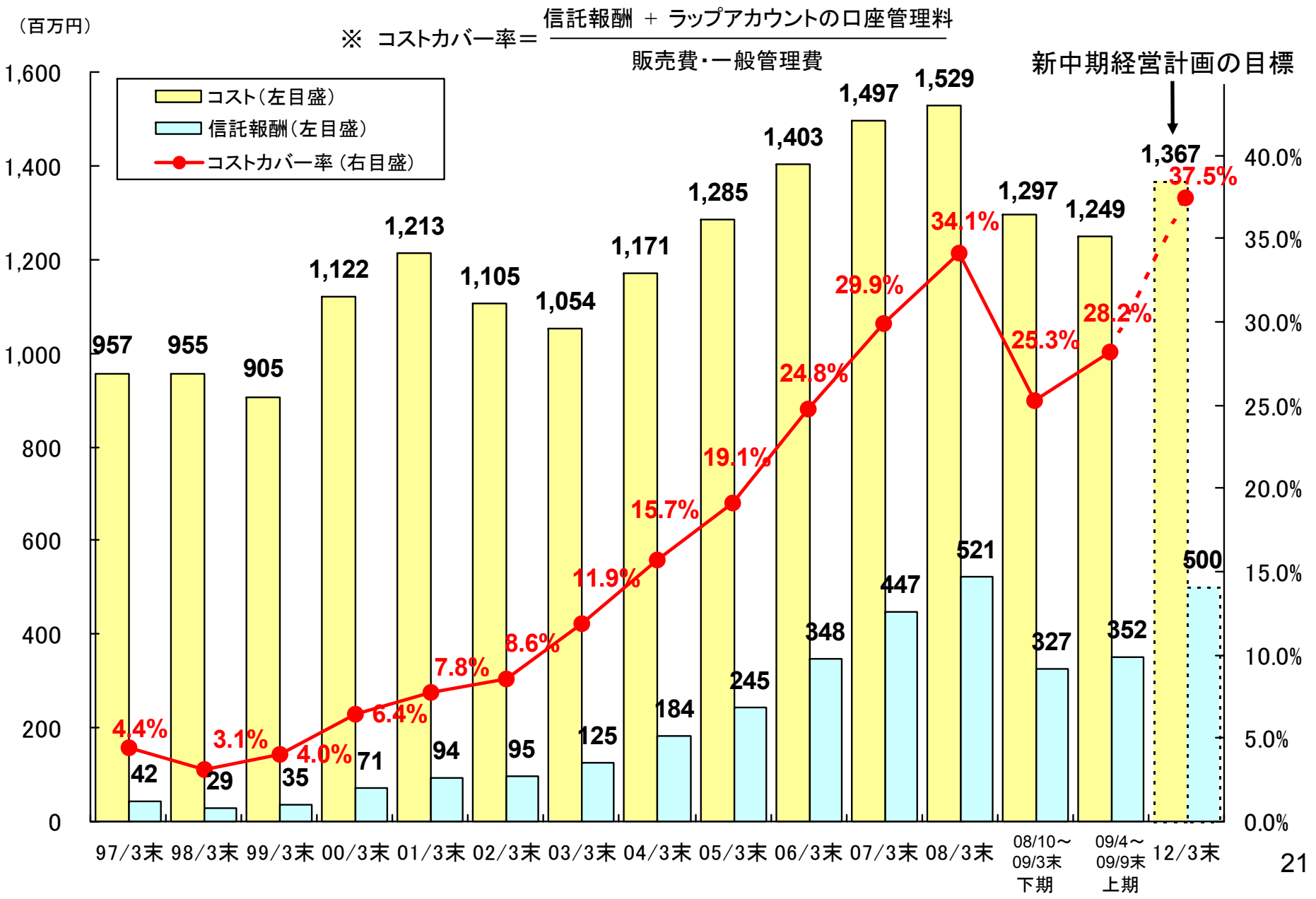
7. 商品戦略－投資信託の募集解約・純増額（月間）

いちよし証券



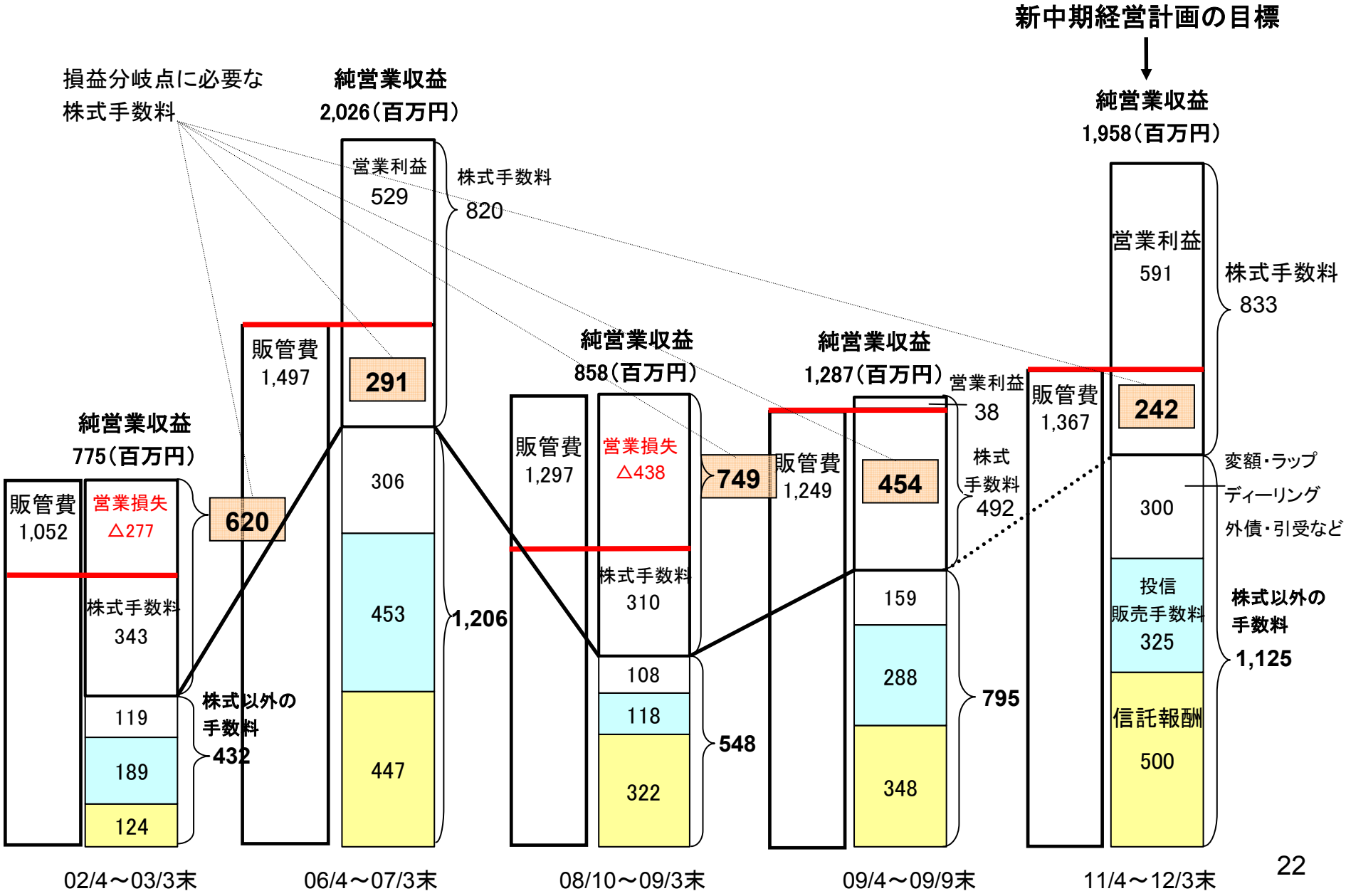
8. 収支構造の改善 ―コストカバー率の推移（単体、月間平均）

いちよし証券



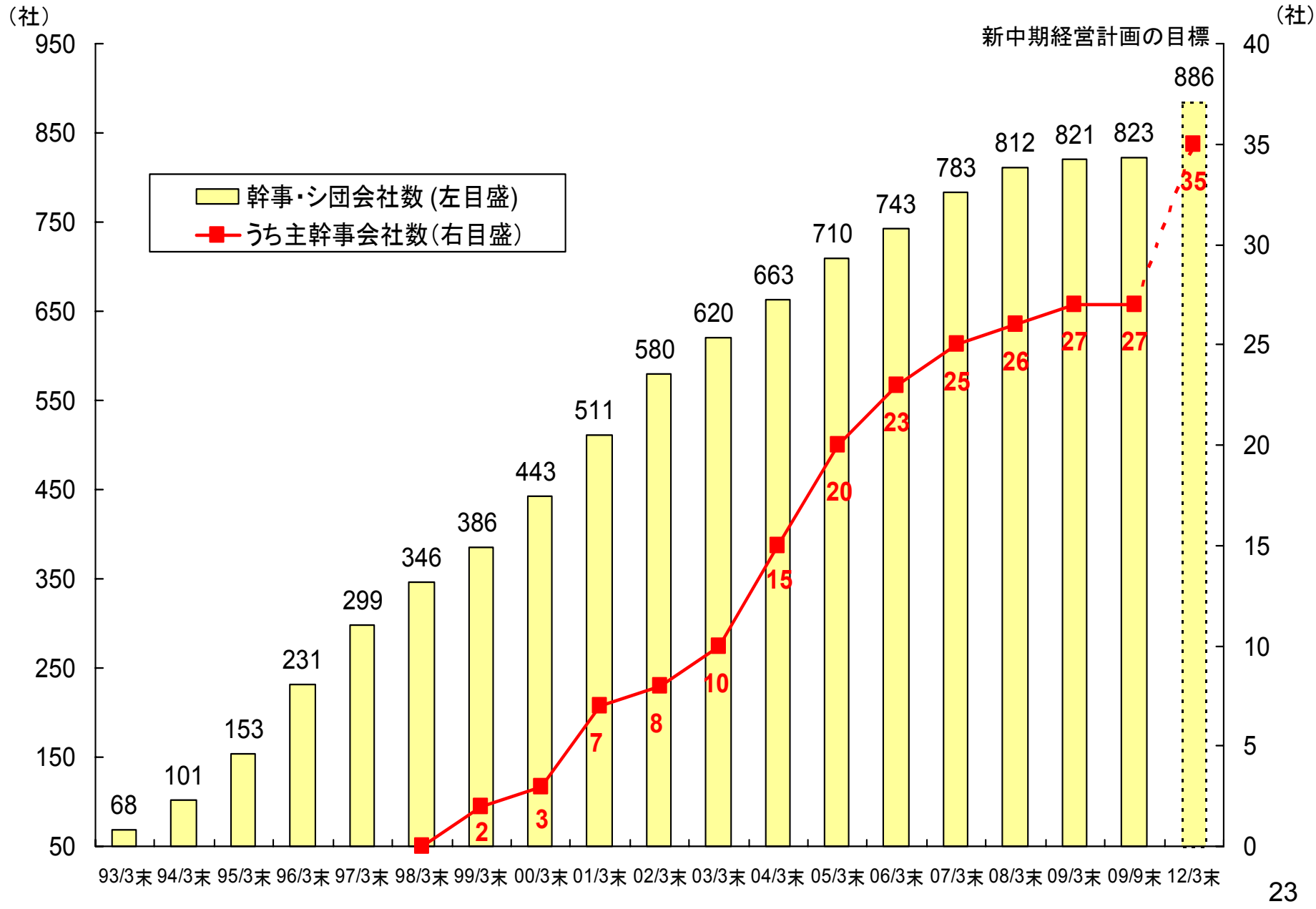
9. 収支構造の改善ー株式市場の変動に影響されない収支構造(単体、月間)

いちよし証券



10. 既存ビジネスの収益力の厚み増加ー主幹事会社目標

いちよし証券



Ⅲ．新中期経営計画と成長戦略

1. 新中期経営計画の数値目標

計画期間:【 2009年4月～2012年3月末】の3年間

預り資産	2兆円（1兆3,375億円）
主幹事会社	35社（27社）
ROE	10～15%程度（0.4%）

（　）内は2009/9月末の数値

前提条件	2012年3月末
日経平均株価	15,000円
ドル/円	110円
長期金利	1.7%

2. 8つの基本戦略

項　目	内　容
基本戦略1. 営業基盤の拡大	預り資産の増加
基本戦略2. 収支構造の改善	株式市場の変動に影響されない収支構造
基本戦略3. 顧客戦略	富裕層預り資産の増加
基本戦略4. 商品戦略	中長期、分散投資が基本スタンス 「投信の土台、ベース資産の再構築」と「エクイティ・シフト」 “売れる商品でも売らない信念” ― いちよし基準の継続 「個人のお客様向け商品についての原理原則」
基本戦略5. 既存ビジネスの収益力の厚み増加	中小型株特化の収益力アップ ・中小型株、中小型株投信等 ・投資銀行業務 ― 引受、M&A関連業務 いちよし証券 ＋ いちよし経済研究所 ＋ いちよし投資顧問
基本戦略6. チャネルの多様化	店舗政策、金融商品仲介業・顧客紹介業、ダイレクト室の役割強化
基本戦略7. いちよしの総合力	「トライアングル・ピラミッド経営」の強化 関連会社を含むシナジー効果の発揮
基本戦略8. 人材育成	若手アドバイザーの育成・アドバイザーの質の向上

3. 今期の経営方針

ブランド・ブティックハウスの土台の再構築

１「原点回帰」の継続

①「クレド」の徹底

②預り資産の拡大（基本戦略1）⟶ 富裕層開拓（基本戦略3）

③「グロソブ」を継続しながらエクイティシフトをする。（基本戦略4）

ベース資産 ＝ グロソブ ＋ 育ち盛り・日本国債ファンド

④中小型株・中堅企業に対する特化の収益化（**基本戦略5**）

２ 中期経営計画の8つの基本戦略を実行しながら月次収支予算の達成

「目的」

月次収支予算の達成 ― **月次収入予算の達成** ― **アドバイザー本部の目標**

月次**支出**予算の達成 ― 本社・本部の目標

（**基本戦略2 収支構造改善**）

３ 広義のコンプライアンスの実行

①法令遵守は絶対条件 ― 部下と会社を守ること

②クレドの精神に合った適合性重視のアドバイスと約定

- アドバイザーの質の向上 ― 部下の育成（**基本戦略8**）
- 他社に対しての競争力の強化

４ 「成長戦略」の布石と実行

4. 成長戦略ーいちよし証券の戦略

金融サービス大競争時代の勝ち組の条件＝差別化

既 存 の ビ ジ ネ ス モ デ ル

- 大規模デパート型（大手証券、大手銀行、銀行系証券）
- ホールセール特化型（外資系投資銀行、外資系証券）
- ディスカウンター型（ネット証券）
- 地方商店型（地方地場証券）

ブ ラ ン ド ・ ブ テ ィ ッ ク ハ ウ ス 型 ： い ち よ し 証 券

差別化:「いちよし」の強みを掘り下げる

① 個人富裕層の金融資産運用サービス特化

② 中小型株特化と中堅企業ニーズ対応サービス特化

5. 成長戦略 ―ブランド・ブティックハウスの構築に向けて

米国のブランド・ブティックハウス型証券会社 ＝ いちよしの10数年来のモデル

1. エドワード・ジョーンズ証券　「個人富裕層の金融資産運用サービス特化」

アメリカですでにこの分野で大きく成長したブティック型証券会社

2. アレックス・ブラウン証券　「中小型株特化と中堅企業ニーズ対応サービス特化」

中小型株式のリサーチ・IPO・富裕層への販売でアメリカで大きく成長したブティック型証券会社

1975年　メイ・ディ　10年後　1998年　日本版ビッグバン　10年後 2009年

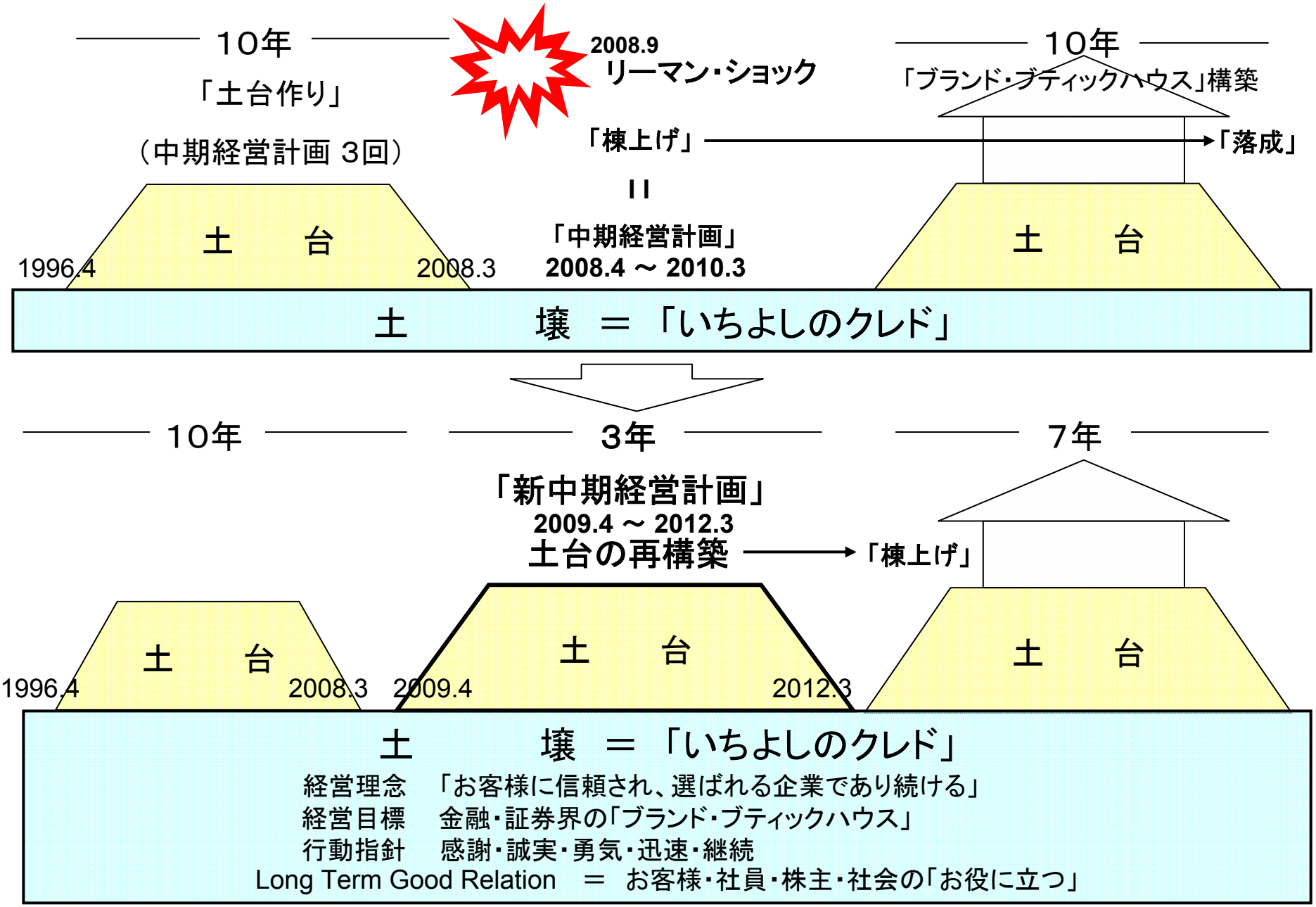
エドワード・ジョーンズ証券　（FA数、支店数の推移）

	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代
ファイナンシャルアドバイザー数	32－60	60－149	149－378	**378－1，644**	1，644－5，939	5，939－12，264
支店数	0－9	9－92	92－304	304－1，523	1，523－5，651	5，651－10，964

（出所：同社ホームページ開示資料をもとに いちよし証券が作成）

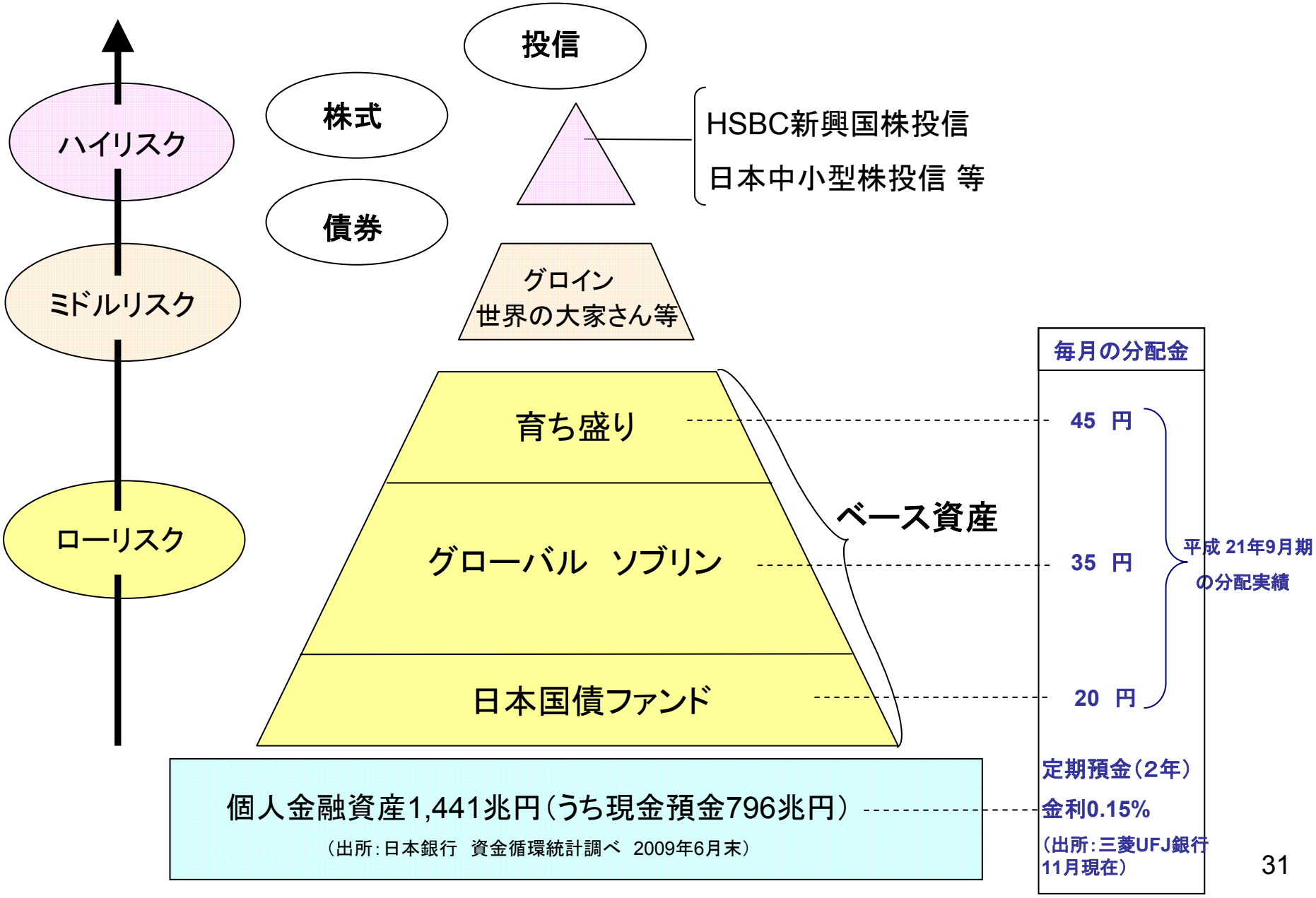
6. 成長戦略ー「ブランド・ブティックハウス」構築

いちよし証券



7. 商品戦略1－主要投資信託

いちよし証券



8. 商品戦略2－個人のお客様向け商品についての原理原則

いちよし証券

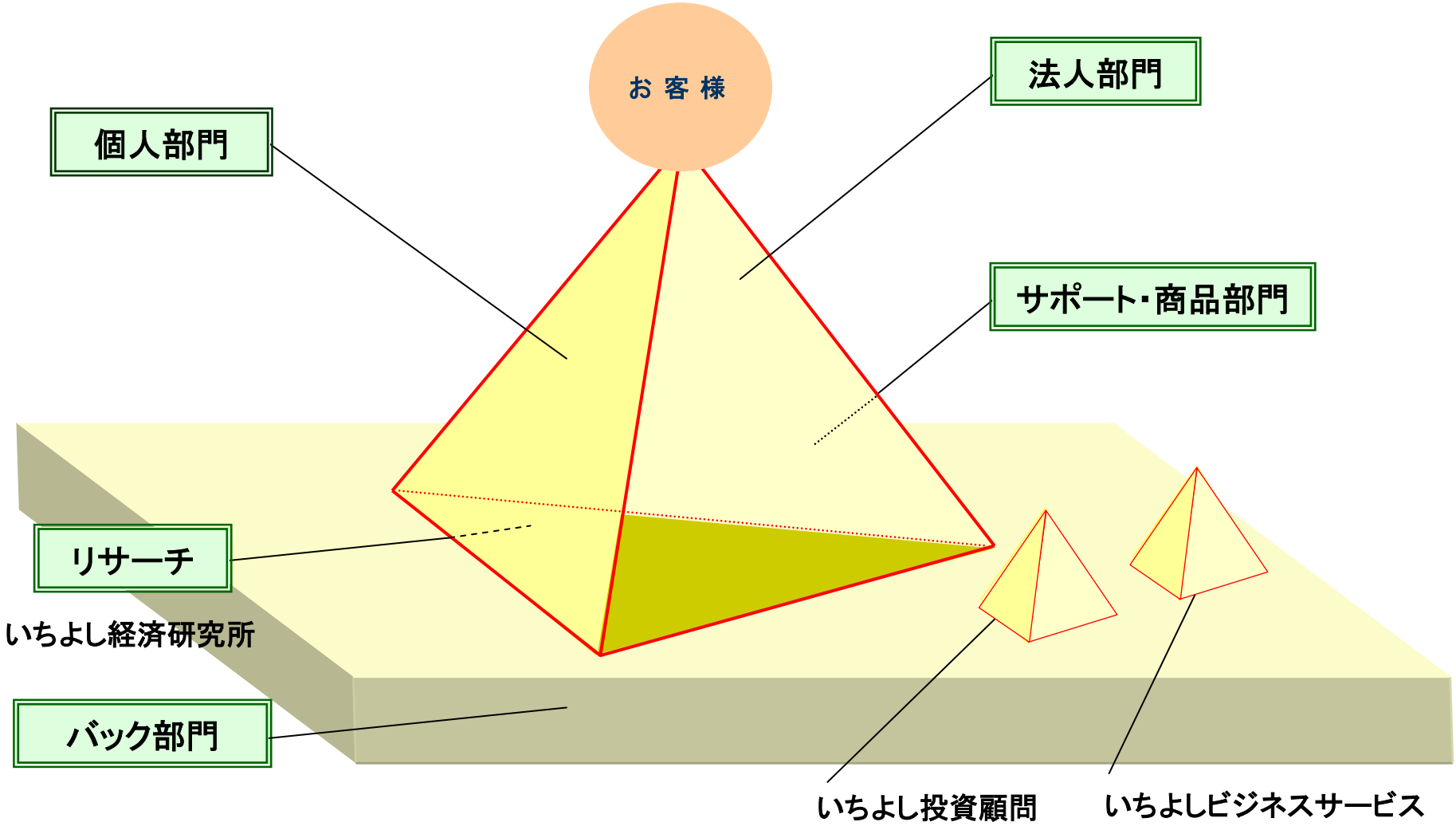
“売れる商品でも売らない信念” － いちよし基準 （10年来実施）

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。外国株は投信での保有をお勧めします。
- 投信運用会社の信頼性、継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX（外為証拠金取引）は、取り扱いません。



9. いちよしの総合力＝「トライアングル・ピラミッド経営」の強化

お客様に「より良い商品、より良い情報、より良いサービス」を提供する為に

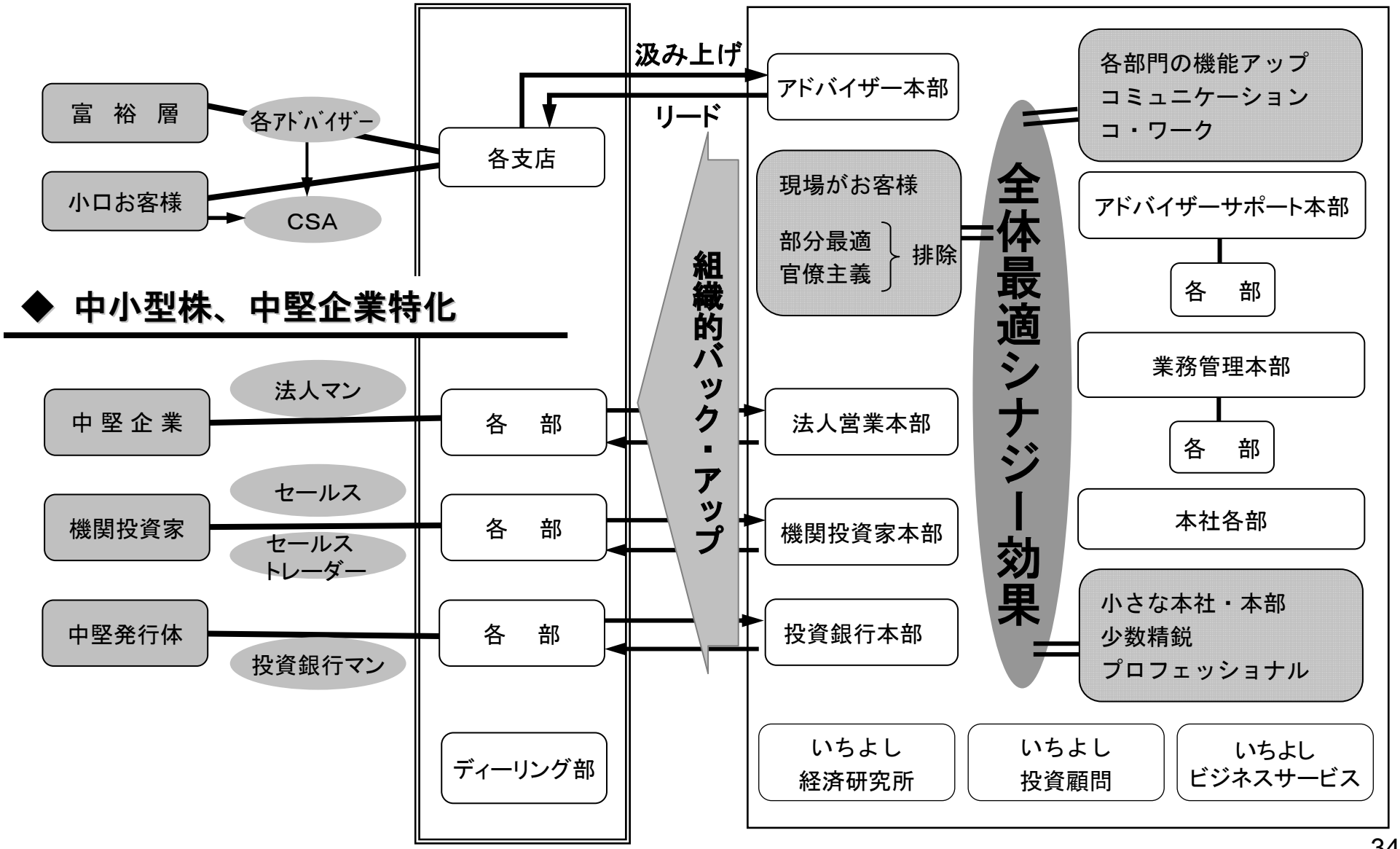


10. いちよしの総合力＝競争力強化

◆ 個人富裕層の資産運用アドバイス特化

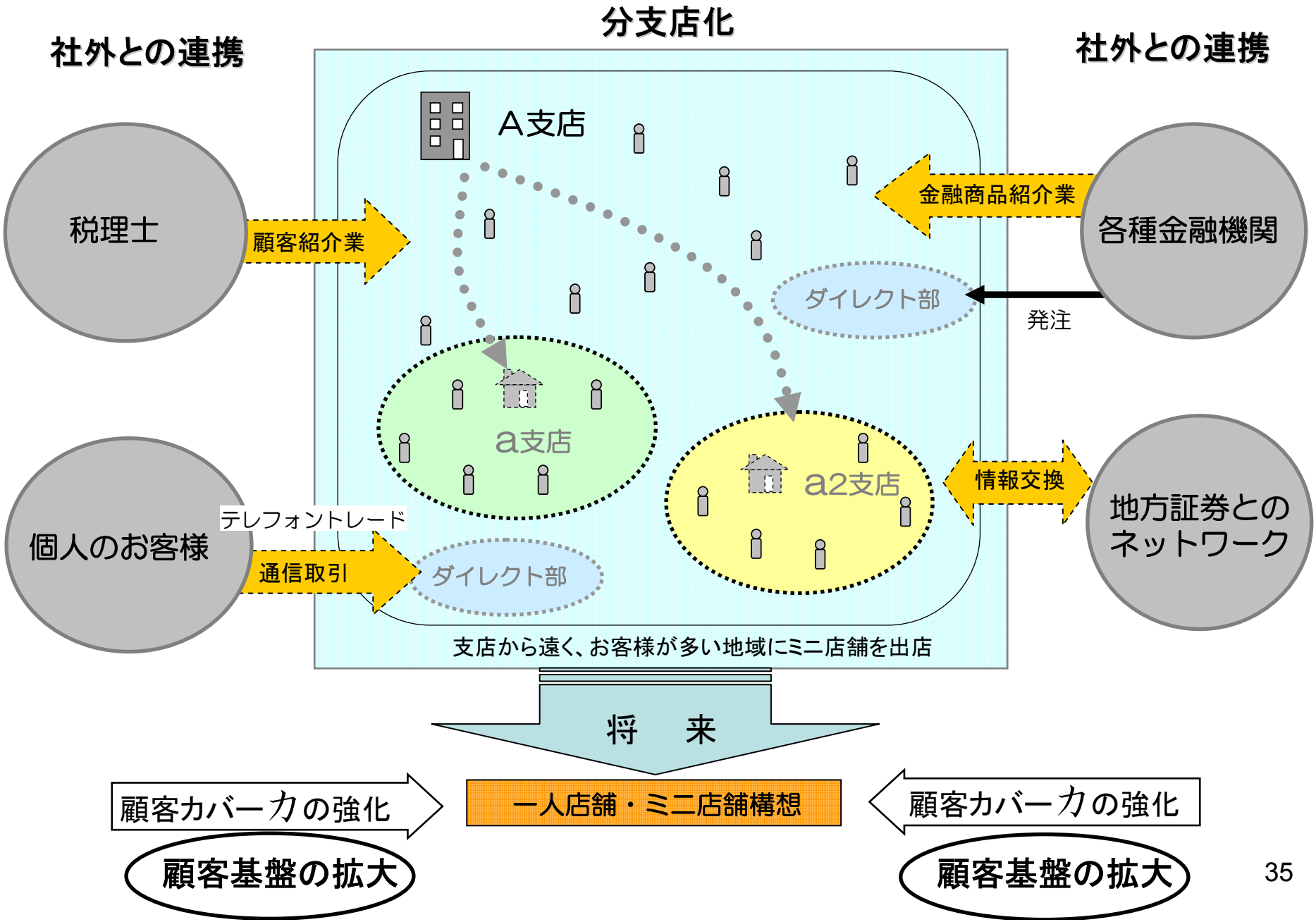
◆ 中小型株、中堅企業特化

「トライアングル・ピラミッド経営」の強化



11. 成長戦略 ― チャネルの多様化

いちよし証券



Ⅳ. コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

1. 株主構成の推移

いちよし証券

1997年3月31日時点

	株　主　名	持株数(千株)	出資比率(%)
1	野村証券	2,928	5.0
2	三和銀行	2,928	5.0
3	大和銀行	2,928	5.0
4	東京三菱銀行	1,989	3.4
5	日本長期信用銀行	1,724	2.9
6	野村土地建物	1,550	2.6
7	住友銀行	1,308	2.2
8	東洋信託銀行	1,191	2.0
9	野村総合研究所	1,100	1.8
10	一吉証券従業員持株会	935	1.6
	合　計	18,581	31.7

銀行

2009年9月30日時点

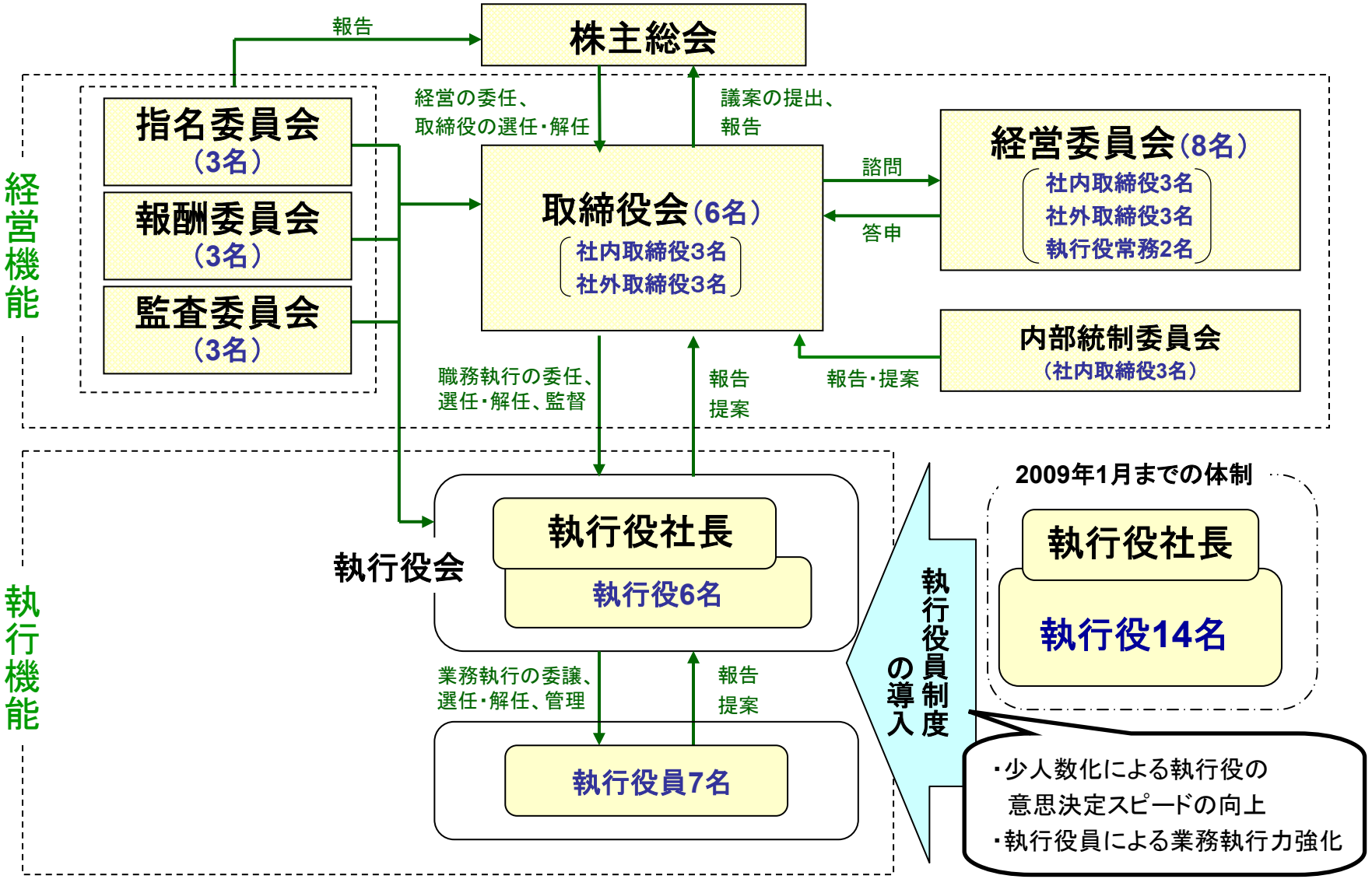
	株　主　名	持株数(千株)	出資比率(%)
1	野村土地建物	5,298	11.9
2	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人　香港上海銀行東京支店)	2,083	4.6
3	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	1,831	4.1
4	ジェイピーモルガンクリアリングコープセク	1,372	3.0
5	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	1,078	2.4
6	野村総合研究所	879	1.9
7	三信	869	1.9
8	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人　株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	748	1.6
9	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	619	1.3
10	メロン バンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス	609	1.3
	合　計	15,392	34.6

(単位　%)

	1997年3月末	2009年3月末	2009年9月末
個　　人	35.1	38.7	**39.6**
外　国　人	11.4	28.0	**27.3**
信託銀行	4.3	9.5	**9.4**

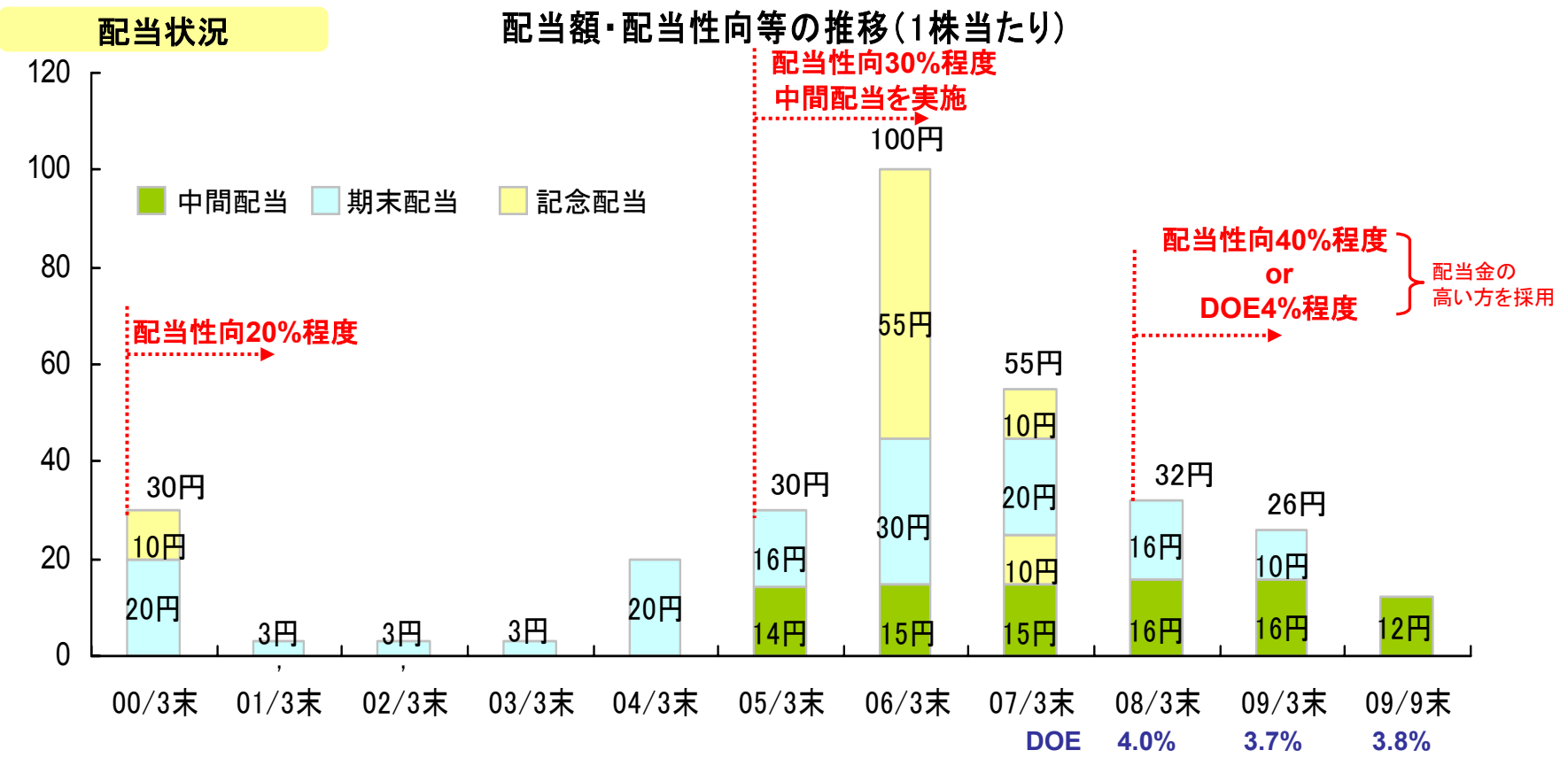
2. ガバナンス体制

「委員会設置会社」



3. 利益還元

配当状況



自己株式の消却

				消却率
1998年9月～2004年1月	自社株買い／消却	11,841,000株	@264.55円	20.2%
2008年1月～3月	自社株買い／消却	1,699,200株	@1,032.31円	3.5%
2008年11月～2009年1月	自社株買い／消却	1,957,500株	@673.03円	4.2%
	合計	15,497,700株		合計 27.9%

（参考）
2009年9月末発行済株式数 44,431,386株

お問合わせ先

いちよし証券株式会社　広報室

TEL：03-3555-6343　FAX：03-3555-2165
http://www.ichiyoshi.co.jp

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2009年9月30日現在のデータに基づき作成しております。

商号等　：いちよし証券株式会社 金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会